

特別支援教育学習指導案

指導者 坂本 善彦

日時 平成30年11月17日(土) 第3校時(13:15~14:05)

年組 中学校第1学年3組 計6名(男子6名)

場所 中学校第1学年3組教室

単元 植物の栽培

単元について

本学級は、軽度・中等度の知的障害特別支援学級である。6名ともに自分の思いは言葉で伝えることができる。一方で、相手の思いや立場を理解することが難しかったり、自分の思いを押し通そうとしたりという傾向が見られる。学校生活の至る所で、自分の思いを適切な方法で伝えることができなったり、相手の気持ちをくみ取ることができなったりという場面が見られ、そのことによって、たびたび学級内での人間関係が変容してしまう事がある。春から夏にかけて行った「植物の栽培」では、夏野菜カレーを作るために、どのような野菜を栽培するのかということをも6名で考え、合意形成を図った。提案された野菜が、自分は好きな野菜だが他の人が苦手な野菜だったり、その逆の場合だったりという時に「なんとなく嫌だ」、「理由はないけどこれが良い」というようなあいまいな意見が多く見られた。また、その後の学校生活でも、何か学級で物事を決める場合、抽象的な理由により、周りの人に明確に自分の気持ちや考えが伝わらないという場面が多々見られた。自分の気持ちが伝わらないことで、人間関係でしんどい思いを抱いている生徒もいる。また、自己肯定感の低さも本学級の生徒に見られる特徴である。今までの経験の中で、「できなかったこと」が積み重なり、そのことが自信のなさや、「なんとなく」という発言に繋がっているように感じる。このように、本学級の生徒は、相手の立場を理解することや、自分の思いを伝えることに関して課題が見られる。「植物の栽培」に関する関心はおおむね高く、土作りや草取りなど自分で考えて取り組むことができている生徒もいる。

本単元「植物の栽培」は、栽培したい野菜を生徒自らが考えることによって、冬野菜にはどのような野菜があるのか、栽培できる時期や収穫できる時期、冬野菜を栽培するために適した地域はどこなのかということを理解することができる。また、野菜を栽培する過程(土作り、種まき、植え付け、水やり、観察、追肥、草取り、収穫等)を通して、将来の就労に向けて「働く」ことの意義を考えさせる機会にできる。自分たちが手間をかけて行ってきたことが、収穫という成果として現れることで、今まで行ってきた過程を肯定的に評価できる。そのことが、農業に限らず、「働く」ことへの肯定的な考え方を構築させることに繋がると考える。一学期の夏野菜の栽培では、トウモロコシ、ピーマン、カボチャを収穫し、「土作りや草取りは大変だったけど、野菜がとれたから、今までしんどかったけど頑張った甲斐があった」と野菜を栽培する過程に対して肯定的な意見が多くあがっていた。本単元は、野菜をテーマとして、栽培する野菜を決定する過程で多様な意見をもとに合意形成するプロセスを経験させることができるので、自分の考えや気持ちを他の人に伝える意義について考えさせる機会にできる。

指導にあたっては、自分の考えを他の人に伝えることができるように、明確な理由を裏付けて、多様な意見をもとに合意形成するプロセスを経験できるように場面設定する。そのために、前時までに生徒一人ひとりがどのような野菜を栽培したいのか、その理由(「○○○(冬野菜を使った料理)に合う」や「栄養価が高い」、「栽培時期が適している」等)は何なのかを、タブレットや本等、あるいは実際にホームセンターの人に相談して、予め個々の考えを明確にさせたい。また、本時で意見を出し合う際には、前時までに各自で調べた内容をもとに、その野菜を選んだ理由を野菜カードに明記させる。野菜カードは黒板に貼り付けることにより、どのクラスメイトがどのような意見をもっているかを視覚的に理解しやすいように工夫する。その野菜カードをもとに、合意形成する事で活発に議論させたい。実際に野菜の栽培を行際には、自ら見直しをもって行うことができるように、野菜の観察日誌をつけさせたい。気づきや日々の生長の記録を、写真や文章で残させることで、間引きや追肥等を行う時期を教員の介入なしに、自分たちでできるようにさせたい。

指導目標

1. 自分の意見に対して明確な理由をもてるようにする。
2. 自分の意見や他の人の意見の理由を比較検討し、よりよい合意形成に向けて努力できるようにする。
3. 野菜を栽培するために、自ら見直しをもって土作り、植え付け、畑の管理等ができるようにする。

指導計画（全18時間）

1. 夏野菜の栽培の振り返り・反省…………… 1時間
2. 冬野菜を使って、どんな料理を作りたいか、話し合っ決めてよう…………… 1時間
3. 意見を出し合い、〇〇〇（冬野菜を使った料理）に入れたい野菜を決めよう… 3時間（本時3/3）
4. 土作り、植え付け（種まき）、畑の管理、収穫 ……………10時間
5. 冬野菜を使った料理を作ろう…………… 2時間
6. 冬野菜の栽培の振り返り・反省…………… 1時間

本時の目標

意見を出し合い、〇〇〇（冬野菜を使った料理）に入れたい3つの野菜を決めることができる。

本時に関わる、生徒の実態と個別の目標、支援

生徒	本時に関わる実態	個別の目標	目標達成のための支援
I	自分の考えを押し通そうとしてしまうことがある。	自分の提案に対して、周囲の人が納得してくれる理由を考えることができる。 他の人の話を聴き、合意形成に向けた提案を行うことができる。	事前の調査をもとに野菜カードに理由を明記させる。 相手の立場に立ったらどのような気持ちになるかを、簡易ロールプレイで考えさせる。
J	意見を出し合う際には、意欲的に活動することができるが、指示内容とは異なる行動をする時がある。 自分の気持ちを我慢し、友だちに譲ってしまい、後から後悔することがある。	目標や活動内容を確認し、その内容に沿った意見を出すことができる。 周囲に伝えた自分の意見が、合意が得られなかった場合でも、即座に譲るのではなく、他の人を説得できる理由等を考えて伝えることができる。	ワークシート等を示し、目標や活動内容を視覚的に再度確認させる。 この野菜を〇〇〇（冬野菜を使った料理）に入れたいという思いを、野菜カードで再度考えさせる。
K	他の人の思いを理解しようとするが、理解するまでに少し時間がかかることがある。 見通しがもてるまでに少し時間がかかるが、見通しがもてると意欲的に活動することができる。	苦手な野菜が提案された時に自分の考えを周囲に伝えることができる。 見直しをもって話し合いに参加することができる。	ただ「苦手」というのではなく、どこが「苦手」か、事前の調査をもとに理由を明確にさせる。 話し合いの過程等が理解しやすいように、ワークシートを活用させる。
L	意欲的に発言を行うが、自分の意見が受け入れられないときには、ひどく落ち込んでしまうことがある。 他の人の意見を聴きそびれてしまうことがある。	自分の考えを他の人に伝えるように話し、受け入れられない場合は合意形成に向けた努力を行うことができる。 他の人の意見を聴くことができる。	理由を明確にさせ、相手の立場に立った考え方ができるように簡易ロールプレイを行う。 今どんな意見が出ているかを、黒板で視覚的に確認させる。
M	自分の意見を即座に表出しづらい時がある。 集中できず、他の人の意見を聴きそびれてしまうことがある。	自分の意見を周りの人に伝えることができる。 他の人の意見を理由も含めて聴くことができる。	じっくりと考えさせたり、少し時間を空けたりして、意見を表出させる時間をとる。 野菜カードを示し、他の人の意見を、理由を含めて視覚的に再度確認させる。
N	自分の意見を伝える時、「なんとなく」と言って、理由を明確に伝えることが難しい場合がある。 クラスの学級係として、意見をまとめようとする姿勢が見られる。	明確な理由を添えて、自分の意見を周囲に伝えることができる。 クラスの学級係として、自分の意見も含めて多様な意見をまとめることができる。	理由をいくつか例示し、口頭で意見を述べる前に、野菜カードに理由を明記させる。 相手の立場に立った考え方ができるように簡易ロールプレイを行う。

学びを豊かにするための手立て

本時では、多様な意見をもとに合意形成するプロセスを経験できるように場面設定している。そのため、前時までにどの野菜を栽培したいのか、その理由は何なのかを整理・検討させ、予め個々の考えを明確にしておくことが第一の手立てである。本時で意見を出し合う際には、前時までに各自で整理・検討した内容をもとに、その野菜を選んだ理由を野菜カードに明記させる。野菜カードをもとに合意形成を図り、議論が停滞した際に、どのような視点から合意形成を行えば良いかを多角的に問いかけることが第二の手立てである。

学習の展開

学習活動 (□) と評価 (◆)	指導上の留意点 (・) と支援 (■)
<p>□本時の学習の流れと目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題：意見を出し合い、○○○（冬野菜を使った料理）に入りたい3つの野菜を決めよう。</p> </div>	<p>■本時の学習の流れと目標を掲示し、見直しをもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理由を明確にして、他の人に伝えることを確認する。 今回決まった野菜を翌週から3組の畑で栽培することを明示する。 畑のスペースから、栽培できる野菜が限られることを伝える。
<p>□前時までに考えた野菜を整理し、野菜カードに明記させる。</p> <p>◆野菜を選んだ理由を含めて考えようとしているか。</p> <p>□野菜と野菜を選んだ理由を発表する。</p> <p>◆他の人の意見を聴くことができているか。</p> <p>□学級係を中心に合意形成する。</p> <p>◆他の人の意見に納得し、自分の意見を相手に伝えられるように努力しているか。</p> <p>□決まった野菜のネームプレートを作る。</p>	<p>■ワークシートの活用方法を黒板に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜を選んだ理由をワークシートに記入できているか確認させる。 冬に収穫できる野菜を、教科書や前回のワークシートで確認させる。 <p>■自分が選んだ野菜を理由とともにカードに記入させ、発表時に黒板に貼らせる。</p> <p>■適宜、ペアで自分の考えを伝え合うよう指示する。</p> <p>■教科書やタブレットを活用させ、野菜のイラストを描かせる。</p>
<p>□○○○の写真に、完成したネームプレートを貼りけるとともに、自分たちが野菜を栽培・収穫して作る予定の○○○に対する印象や、今後の栽培に向けた意気込み等を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の草抜き、土作り、植え付け、追肥等に対して、意欲を高めることができるように雰囲気を作る。 <p>■ワークシートをもとに、発表できるよう促す。</p>

準備物

教科書、ワークシート、野菜カード、○○○（冬野菜を使った料理）の写真、ネームプレート用画用紙、色鉛筆、マジック、マグネット、タブレット

座席表

